

【オンライン】2024 サイバーセキュリティ対策講座 ①

巧妙な手口で急増している様々なサイバー攻撃等を学び、万全の対策を！

普段聞けない
警視庁からの
貴重な講演あり

2024年6月20日(木) 13:30 ▶ 16:00

近年、新型コロナウイルスの影響でより世界的にデジタル化が進んだことで、サイバー攻撃の脅威はかつてないほど高まっています。また企業においては、ビジネスメール詐欺が急増しており、その手口も巧妙になっているため、多角的な視点でのサイバーセキュリティ対策が求められています。

本講座では、様々な分野のプロフェッショナルから、対策のノウハウ、サイバー犯罪等の情勢、内部不正による情報漏洩対策、万一被害を受けてしまった場合の備え、などを学んで頂きます。

経営者・管理者の皆様の参加は勿論、社内研修の代行としてもご活用ください！

【カリキュラム】 ※都合により、内容が変更する場合があります。

【第1部】サイバー空間をめぐる脅威の情勢、ビジネスメール詐欺等への対策【50分】

〔警視庁 サイバーセキュリティ対策本部 担当官〕

- ◆2023年におけるサイバー空間ではどのような犯罪が多かったのか、事業継続のため求められるサイバーセキュリティ対策について解説します。
- ◆ここ数年世界的に急増中のビジネスメール詐欺は、日本においても例外ではなく被害が急増しています。なぜ騙されて送金してしまうのか、その巧妙な手口をご理解していただき、会社の資金流出を防ぐためにはどうしたら良いのかについて、分かり易くご説明します。

【第2部】自社セキュリティを見直そう！「情報セキュリティ自社診断」の活用について【30分】

〔東日本電信電話(株) ビジ 初開発本部 CXL ビジ 初部 セキュリティサービス担当 岡安 翔太 氏〕

- ◆情報セキュリティの強化には、自社のセキュリティ対策状況を可視化し、リスクを把握することが不可欠です。本講演では、最近のセキュリティインシデント事例を参考に、“今”必要なセキュリティ対策について解説します。
- ◆また、IPAの「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」の活用方法について、実演を交えながら分かり易く説明いたします。

【第3部】Microsoft OfficeからMicrosoft365へ、サポート期限切れのリスクを解説！【50分】

〔日本マイクロソフト(株) チャネルパートナー営業本部 パートナーデバイスロップメントマネージャー 加藤 聖也 氏〕

- ◆2025年10月14日にOffice2016/2019のサポートが終了します。サポート期限が到来したOfficeを継続して利用することで、どのようなリスクがあるのかを解説します。
- ◆また、サポート期限とは何か、サポート期限到来時にどのように対処すればよいのか、新しいOfficeではどのように解決できるのか、なども併せてご説明します。

次回案内 2024年10月と2025年2月を目途に本講座を開催します。内容は、日々巧妙化していくサイバー攻撃に対応するべく、その時々最新のトレンドな題材を提供させていただきます。是非シリーズで受講してください。(別途ご案内)

(注)1.本セミナーの録音・録画は禁止とさせていただきます。ご協力の程お願いします。2.セミナーの内容は、若干変更となる場合があります。

定員 300名 受講料 5,500円(税込) ユーザ協会会員:無料

お申し込み方法

6月18日(火)までに右 QRコード または 以下申込サイトからお申込みください。

<https://coubic.com/jtua-kinki/4346028>

聴講方法

「Zoomウェビナー」にてライブ配信します。URL等詳細は、お申込み直後予約確認メールにてお申込みメールアドレス宛にご案内致します。

ユーザ協会では、ICT活用事例や電話応対教育メニュー等の情報を積極的に発信しております。

本協会の趣旨にご賛同いただき、最新のICT情報等を更にお知りになりたい方は、是非この機会に協会への入会をお願いいたします。

入会には年会費がかかります。年会費の額はユーザ協会各支部までお問い合わせください。

ユーザ協会

【問い合わせ先】(公財)日本電信電話ユーザ協会 東京支部 ☎ 03-6275-0831 E-Mail: ut-tokyo@jtua.or.jp

プライバシーポリシー(プライバシーに関する公益財団法人日本電信電話ユーザ協会の確約)

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会は、常日頃より関係者の情報を厳正に管理し、プライバシー保護に努めています。ユーザ協会は、関係者様の個人情報は当協会の定款に基づく事業目的以外には、使用致しません。なお、頂いたメールアドレス宛に、今後協会の各種情報を送付させていただきます。